

付加ネットワークへの RV016、RV042、RV042G および RV082 VPN ルータ

目標

Wide Area Network (WAN) は LAN の外のアクセスネットワークデバイスにローカル エリア ネットワーク (LAN) デバイスを可能にします。WAN 接続はモデムのようなネットワークデバイスの使用によるインターネットサービスプロバイダー (ISP) によって提供することができます。ルータは多数のデバイスが単一 WAN 接続を提供するモデムに接続するようにします。RV016、RV042、RV042G および RV082 VPN ルータ 機能 2 インターネット接続を可能にする少なくとも 2 つの二重 WAN ポート。RV016 VPN Router に 5 つの設定可能な WAN ポートがあり、RV042、RV042G および RV082 VPN ルータは 2 つの設定可能な WAN ポートを備えています。複数の設定可能な WAN ポートはデバイスがネットワーク効率を改善するためにポート間のネットワーク負荷のバランスをとるようにします。また、複数の WAN ポートはフェールオーバーを提供できます。1 つの WAN ポートが失敗した場合、他の WAN ポートは引き継ぎます。WAN ポートの 1 つはまた非武装地帯 (DMZ) ファイアウォールで設定することができます。DMZ は特定のネットワークデバイスに信頼できないトラフィックを送信します。すなわち、DMZ はファイアウォールによって保護されません。

この技術情報はインターネットのような WAN にデバイスの WAN ポートを接続する方法を説明します。

適当なデバイス

- RV016
- RV042
- RV042G
- RV082

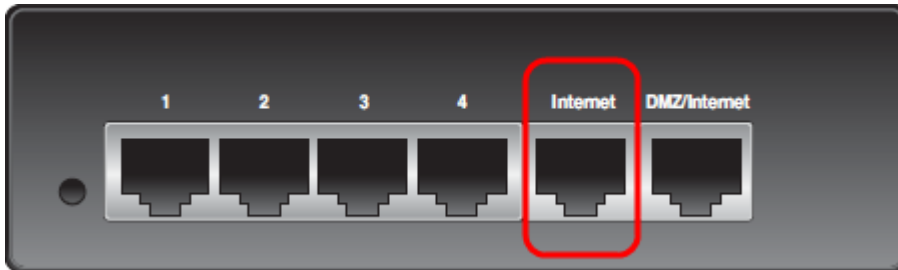
[Software Version]

- v4.2.2.08

ネットワークにルータを接続して下さい

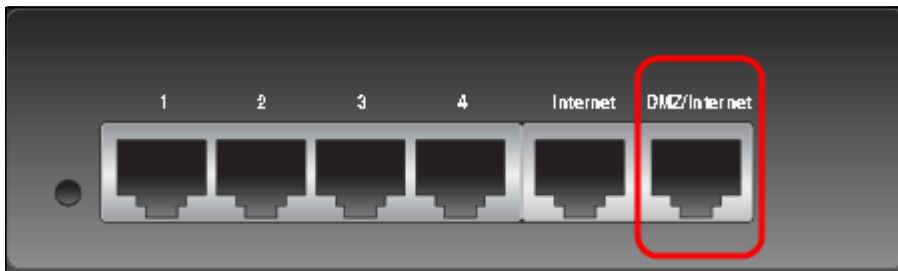
ステップ 1.電源遮断のすべてのネットワークデバイス。これにはすべてのルータが、PC、イーサネットスイッチおよびモデム含まれています。

呼び出します。ルータをインターネットに接続するために、ルータのインターネットポートにイーサネットケーブルの一端を接続して下さい。モデムのような ISP によって、提供されるネットワークデバイスにイーサネットケーブルのもう一方の端を接続して下さい。



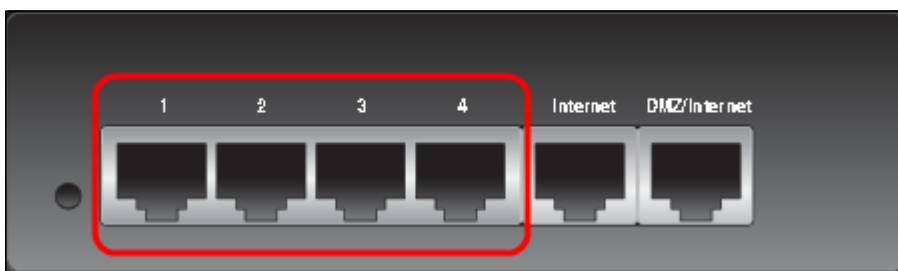
注: 上のイメージは RV042G VPN Router の背部です。 適当なデバイス先頭に立の下でリストに記載された他のすべてのルータは異なっている調べますが、まだインターネットおよび DMZ/Internet ポートを維持します。

セカンダリ ISP にルータを接続するステップ 3. (オプションの) はルータの DMZ/Internet ポートにイーサネットケーブルの一端を接続します。 モデムのような ISP によって、提供されるネットワークデバイスにイーサネットケーブルのもう一方の端を接続して下さい。



注: セカンダリ ISP を使用するために、秒 IP アドレスは ISP から必要です。 ルータの第 2 WAN ポートか DMZ/Internet ポートは DMZ ポートまたはセカンダリ ISP ポートで設定することができます。 セカンダリ WAN ポートのデフォルト設定は ISP 接続です。 この設定、ログインを Web コンフィギュレーションユーティリティに変更し、WAN 設定を編集するため。

ステップ 4. ルータの番号を付けられた LAN ポートへのイーサネットネットワーク ケーブルおよび接続を確立するデバイスへのもう一方の端の接続応答 一端。 ルータの番号を付けられた LAN ポートはコンピュータおよびイーサネット スイッチのようなデバイスを接続するために設定され、使用することができます。



ステップ 5. すべてのネットワークデバイスの電源。 ルータは WAN ポートを通してインターネットに接続されて準備ができています。